

社会教育研究部門

## 「教育と公共」研究部会（第19回）

日時：2020年11月13日（金）13:00～16:00

場所：オンライン「ZOOM」で開催

出席：田嶋一・浅井幸子・上野正道・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員  
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子・山口和人

内容：（1）田嶋研究員の報告：（公共論のメガネをかけてみた）田中不二麿の教育政策の特徴と歴史的意義

- ① なぜ田中不二麿文政を問題にするのか
- ② 先行研究について
- ③ 田中不二麿の教育思想と施策（明治初期にあらわれた公共論の可能性を探る）
  - ・田中不二麿の教育思想の形成
  - ・教育令の交付と「自奮」論展開（学制下における教育行政の軌道修正、日本教育令案の内容と教育令）
  - ・欽定憲法をいさぐ中央集権国家構想と教育政策—教育令の改正と明治14年の政変

◆次回報告の課題—教育への参加と学務委員制度

（2）狩野研究員の報告：斎藤喜博が校長として在職した群馬県・島小学校および指導した小学校他における学校公開研究会参観者数を表とグラフ化（昭和29～37年）

- ① 参観者数の推移（各都道府県別の実数）
- ② 参観者数の推移（各都道府県別の割合）
- ③ 学校公開研究会主要地域（16都道府県）の参観者数実数・割合の推移と順位
- ④ 分析と意見交換
  - ・参観者が多い地域は島小に近く、学校づくりは低調、初期段階に多く参観、物見遊山的・義務的に参加という特徴。参加者が少ない地域は島小から遠く、学校づくりが盛んで、後期段階に多く参観、主体的に参加という特徴がある
  - ・これらのデータから他に見えてくることがあるとすれば何か？ 昭和34～35年に急に増えるのはなぜか（浅井研究員）←「現代教育科学」（明治図書）に載ったからか？ 36年の映画「芽を吹く子ども」の影響もあるのか？（狩野）
  - ・地元で急速に受け入れられなくなるのは？（田嶋）←最初からそうだった。目立つと嫌がられるのか？ 斎藤氏の「島小物語」には書かれているが…（狩野）
  - ・地域的特徴を見たい。例えば兵庫（藤井） etc

・次回研究会は、12月11日（金）13時から、オンライン「ZOOM」で開催予定  
報告者は上野、仲田各研究員